様式１

令和５年度　シ　ラ　バ　ス

科　目　名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
現代の国語	2	1	必　修	普通科 国際人文科 体育科	

１　科目概要および目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。
思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化への関心を深める。

２　成績評価

中間考査、期末考査、実力テスト等のテスト点に、提出物やプリントなどを加点して成績を出す。勤怠状況も加味する。夏期休業期間の課題である読書感想文は２学期初回の授業で提出させる。

３　使用教科書・教材

現代の国語（大修館書店）現国 706
『現代の国語学習ノート』（大修館書店）
『トータルサポート新国語便覧』（大修館書店）
『常用漢字ダブルクリア四訂版』（尚文出版）

４　授業の展開と形態

国際人文科と体育科は一斉授業（１クラス 40 人）を行う。
普通科は少人数授業（２クラス３展開）を行う。
必要に応じてグループ活動等を行う。
内容に応じて視聴覚教室、コンピューター教室、学校図書館等も利用する。

５　学習方法

家庭学習を習慣づけることがもっとも大事なことである。新しい単元に入る前にあらかじめ読めない漢字、意味が分からない語句をチェックしておく。

教科書に準拠した「学習ノート」は、予習として事前に解答しておく。ノート作成は各自で工夫して、テスト前復習での確認に役立つように整理する。授業には積極的に参加する。

６　履修上の留意点

(1)科目選択をする際考慮すべき事項

全学科にわたって必修

(2)就職・進学試験等と関連しての注意事項

国公立大学や一部私立大学の入学試験で必須となる大学共通テストでは「国語」として１科目設定されているが、その基礎であると同時に主要な出題範囲になっている。１年次から決しておろそかにできない科目である。

様式２

年　間　授　業　計　画

月	単　　元		配時	ﾏｰｸ欄
４月	１　明日をひらく	白紙（森田真生）	２	／
	２　要点をつかむ	水の東西（山崎正和）	２	／
		意見文構想	３	／
５月	◎定期考査（中間）		１	／
	意見文を書く		３	／
	３　的確に伝える	設計図を最初に渡せ！（藤沢晃治）	１	／
		社会への視点①　さまざまな規約	１	／
	４　意見を示す	プラスチック汚染からは逃げられない（中嶋亮太）	２	／
６月	意見文発表会		３	／
	５　論理をとらえる	動的平衡としての生物多様性（福岡伸一）	２	／
	６　魅力的に伝える	「伝える」の先にあるもの（ジェーン・スー）	２	／
	◎定期考査（期末）		１	／
７月	７　資料を駆使する	「安くておいしい国」の限界（小熊英二）	２	／
		インターネット時代の音楽産業（吉見俊哉）	１	／
９月	８　他者と交流する	他者を理解するということ（鷲田清一）	１	／
		遠回りの金メダル（小平奈緒）	２	／
		インタビューの醍醐味（永江朗）	２	／
		パン屋の手紙（神幸紀・中村好文）	２	／
10 月	９　情報を比較する	「美しさの発見」について（高階秀爾）	５	／
		空気を読む（香山リカ）	３	／
	◎定期考査（中間）		１	／
11 月	10　他者を動かす	企画書『となりのトトロ』（宮崎駿）	３	／
		とう伝えるか（山中伸弥）	４	／
		社会への視点②　さまざまな広告	３	／
12 月	◎定期考査（期末）		１	／
	11　主張を吟味する	贅沢を取り戻す（國分功一郎）	１	／
		言葉についての新しい認識（池上嘉彦）	１	／
１月	12　考えを発信する	白（原研哉）	２	／
	作業ロボットの悲劇	作業ロボットの悲劇（松田雄馬）	２	／
	◎定期考査（学年末）		１	／
２月	12　考えを発信する	レポートを書く	３	／
			３	／
３月	12　考えを発信する	問いを立てる（上野千鶴子）	４	／

70　単元終了日時

令和5年度　シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科　目　名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
言語文化	2	1	必　修	普通科 国際人文科 体育科	

1　科目概要および目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
a 知識・技能	b 思考力・判断力・表現力	c 主体的に学習に取り組む態度
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　成績評価

項　　目	内　　容
a 知識・技能	授業時の観察・定期テスト・小テスト
b 思考力・判断力・表現力	授業時の観察・定期テスト
c 主体的に学習に取り組む態度	授業時の観察・提出物・レポート・小テスト 発表等のパフォーマンス評価

3　使用教材

教科書　『精選言語文化』　（　東京書籍　）

副読本　『精選言語文化　学習ノート』　（　東京書籍　）

『トータルサポート国語便覧』　（　大修館書店　）

『基礎から学ぶ解析古典文法　三訂版』（　桐原書店　）

『 基礎から学ぶ解析古典文法　演習ノート』　（　桐原書店　）

『基礎から解釈へ　漢文必携　四訂版』（　桐原書店　）

『 基礎から解釈へ　漢文必携　基本編』（　桐原書店　）

『三訂版 わかる読める解ける古文単語 330 』（ いいずな書店　）

4　授業の展開と形態

（1）普通科：２クラス３展開の小人数授業を行う。

（2）国際人文科・体育科：１クラス 40 名の一斉授業を行う。

（3）必要に応じてグループ活動を行う。

（4）内容に応じて ICT を活用し、コンピュータ教室、図書館を利用する。

令和5年度　シラバス

5　学習の進め方

（1）講義形式の授業を基本とする。

（2）古文においては、古文独特の語彙を豊かにするとともに、表現上の特色をとらえるため、音読をはじめ繰り返し練習することを心がける。

（3）予習、復習を定着させ、課題の中から小テストを行う。

5　履修上の注意点

（1）科目選択をする際に考慮すべき事として、全学科にわたって必修とする。

（2）わが国の言語文化への理解を深める科目であり、大学共通テストでは、「国語」として「現代の国語」と「言語文化」の二つが共通必履修科目として設けられているため、高校基礎力の定着が求められる科目である。

6　年間授業計画

期	月			単　元	配時	ﾏｰｸ欄
1	4月	近現	随筆	言葉を届ける（ 東　直子 ）	3	/
		古典	説話	児のそら寝（ 『宇治拾遺物語』 ）	4	/
	5月	◎定期考査（ 中間 ）			1	/
		古典	漢文入門	訓読の基本	2	/
	6月	近現	小説Ⅰ	羅生門（ 芥川龍之介 ）	4	/
		古典	随筆	丹波に出雲といふ所あり（ 兼好法師『徒然草』）	3	/
		◎定期考査（ 期末 ）			1	/
	7月	古典	漢文	寓話　借虎威　（ 『戦国策』 ）	3	/
				朝三暮四　（ 『列子』 ）	3	/
2	9月	近現	詩歌	こころの鉦－短歌抄 秋の航－俳句抄 一つのメルヘン　（ 中原中也 ）	4	/
		古典	歌物語	芥川　（ 『伊勢物語』 ）	4	/
	10月	古典	日記	馬のはなむけ　（ 紀貫之『土佐日記』 ）	3	/
			物語	天の羽衣　（ 竹取物語 ）	2	/
			詩文	絶句と律詩	2	/
		◎定期考査（ 中間 ）			1	/
	11月	近現	小説Ⅱ	鏡　（ 村上春樹 ）	4	/
		古典	和歌	恋の歌を読み比べる	2	/
	12月	◎定期考査（ 期末 ）			1	/
		古典	軍記物	木曽殿の最期　（ 『平家物語』 ）	3	/
			史話	晏子の御　（ 『史記』 ）	2	/
				管鮑之交　（ 『十八史略』 ）	2	/
				臥薪嘗胆　（ 『十八史略』 ）	2	/
3	1月	近現		作品を読み比べる－桜に関する作品を読み比べる	5	/
		◎定期考査（ 学年末 ）			1	/
	2月	古典		昔の犬は何と鳴く・文体の変遷	4	/
	3月	古典	思想	論語　（ 孔子 ） 学問を語る・人生を語る・　政治を語る	4	/

様式１

令和５年度　シ　ラ　バ　ス

沖縄県立那覇西高等学校

科　目　名	単位数	学　年	必修・選択	対 象 学 科	備　考
古典探究	２	２	必修	全学科	

１．科目概要および目標

内容：「言語文化」での古文・漢文の基礎を発展させる科目。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。

目標：古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに，ものの見方，感じ方，考え方を広くし，古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

２．成績評価

定期考査、実力テスト、小テスト等のテスト点に、ワークシートや課題の提出物等の学習状況を加味して成績評価をする。

３．使用教科書・教材

『精選古典探究』（大修館書店）

『精選古典探究　学習ノート』（大修館書店）

『基礎から学ぶ解析古典文法』（桐原書店）

『基礎から学ぶ解析古典文法　演習ノート』（桐原書店）

『新国語便覧』（大修館書店）

『改訂版わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330』（いいずな書店）

『基礎から解釈へ漢文必携四訂版』（桐原書店）

４．授業の展開と形態

原則として一斉授業。必要に応じてグループ活動等を行う。

内容に応じて視聴覚教室、コンピューター教室、学校図書館等も利用する。

５．学習方法

・語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。
・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきましょう。口語訳まで自分で予習することを習慣化しましょう。
・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・ノート・ワークシート等を確かめながら学習内容を整理すること。特に古文の文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。

様式２

年　間　授　業　計　画

検印　校長［　　］　教頭［　　］［　　］

教科	国語	科目名	古典探究	単位数	２	学年	２	担当者名	諸見里　綾子　印 仲田　麻乃　印 中村　渚　印

評価の観点		
ａ．関心・意欲・態度	ｂ．読む能力	ｃ．知識・理解
古典を読む力を高め、作品の価値について自ら考察するとともに、我が国の文化の特質や中国の文化との関係について理解を深めようとする。	古典を読んで、内容及び思想や感情を、構成や展開に即して的確に捉え、ものの見方・感じ方・考え方を豊かにしようとする。	古典の理解に役立てるため、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身に付けている。

時数	学習項目	学習内容（ねらい）および評価の観点	a	b	c
3	一年の復習	・オリエンテーション			
		・一年で習った古典の内容と文法事項をおさらいする。	○		○
6	十訓抄	・比較的短い説話を読んで古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。	○	○	○
		・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。	○	○	○
		・機知に富んだ返歌を読み味わうことで、日本語の言語文化に理解を深める。		○	○
6	故事・寓話 「画竜点睛」	・短めの文章を読んで漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。	○	○	○
		・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。			○
		・否定・仮定・使役・疑問・感嘆などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。		○	○
		・故事や寓話にこめられた古代中国人のものの見方・考え方を味わう。	○	○	○
6	言語活動 故事成語の意味の違いを調べる	・解説を読んで、故事成語とそのもとになった故事や逸話に関心を持つ。	○	○	
		・課題について調べて、文章にまとめたり発表したりする。	○		○
		・漢和辞典・副教材・図書館資料やインターネットを主体的に利用する。	○	○	○
		・故事成語のもとになった故事と、現在使われている意味について理解する。	○	○	○
7	伊勢物語 「初冠」	・比較的短い歌物語を読んで、古文に親しむ。	○	○	○
		・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。		○	○
		・歌物語における和歌の役割を理解する。	○	○	
		・助動詞について理解する。			○
7	史伝 「鴻門の会」	・比較的短めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。	○	○	○
		・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。		○	○
		・疑問・反語・否定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。		○	○
		・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。			○
		・中国における歴史書と歴史の記録について、その特徴を知る。	○	○	○

7	枕草子 「中納言参り給ひて」	・随筆を読んで人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・文章の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・助詞・助動詞について理解する。	○	○ ○	○ ○ ○ ○
7	漢詩の鑑賞 「蛾眉山月歌」 「勧酒」 「早発白帝城」	・漢詩の表現の美しさを味わう。 ・漢詩のさまざまな描写に接し、そこにうたわれているものを的確に捉える。 ・漢詩のきまり、特に近体詩の詩形・押韻・構成・対句について理解する。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・限定・疑問・否定・禁止・反語などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・詩に表現された作者の心情を、そのときの作者の境遇と合わせて理解する。	○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○
9	更級日記 「門出」	・日記を読んで人間、社会、自然などに対する作者の思想や感情を読み取る。 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉える。 ・助動詞について理解する。	○	○ ○	○ ○ ○
12	小説 「定伯売鬼」	・長めの文章を読んで、漢文に親しみを持ち、話の内容を理解する。 ・話の展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み取る。 ・漢楚の興亡についての概要を知る。 ・本文を訓点に従って正しく読み、書き下し文に改める。 ・疑問・禁止・限定などの句形の読みと意味とについて理解し、それに即して口語訳をする。 ・中国における「鬼」と日本における「鬼」の特徴を押さえ、共通点や相違点を話し合う。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○

様式１

令和５年度　シ　ラ　バ　ス

沖縄県立那覇西高等学校

科　目　名	単位数	学　年	必修・選択	対 象 学 科	備　考
論理国語	2	2	必修	全学科	

１．科目概要および目標

内容：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することを目指す。

目標：（１）実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

（２）論理的・批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

２．成績評価

定期考査、実力テスト、小テスト等のテスト点に、ワークシートや課題の提出物等の学習状況を加味して成績評価をする。

３．使用教科書・教材

『論理国語』（第一学習社）
『学習課題ノート』（第一学習社）
『新国語便覧』（大修館書店）
『古文単語』（いいずな書店）
『現代文単語』（いいずな書店）

４．授業の展開と形態

・原則として一斉授業（１クラス 40 人）を行う。
・必要に応じてグループ活動等を行う。
・内容に応じて視聴覚教室、コンピューター教室、学校図書館等も利用する。

５．学習方法

・目的や課題に応じてさまざまな情報を収集し活用して、進んで表現するよう努めさせる。
・学んだことを定着させるために、教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理させる。
・受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し、自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけさせる。また授業のみならず日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり、幅広い視野、人間性を身につける努力を続けさせる。

様式２

年　間　授　業　計　画

月	単　　元			配時	ﾏｰｸ欄
４月	オリエンテーション			1	／
	1　評論(一)	鷲田清一	自他の「間あい」	4	／
	弁論大会にむけて　－主題をみつけ、書く 弁論大会HR予選　－主張を書き、発表する			6	／ ／
５月	◎定期考査(中間)			1	／
	2　評論(二)	森田良行	「私」中心の日本語	7	／
６月	3　評論(三)	清岡卓行	手の変幻	7	／
	◎定期考査(期末)			1	／
７月 ～ ９月	4　論理研究	仲島ひとみ	推論とは何か	3	／
	5　評論(四)	長谷川英祐	働かないアリに意義があるか	7	／
10月	◎定期考査(中間)			1	／
	6　評論(四)	小塚荘一郎	ＡＩ時代の社会と法	6	／
11月	7　評論(五)	福岡伸一	なぜ多様性が必要か	7	／
12月	◎定期考査(期末)			1	／
	8　評論(六)	広井良典	コニュニティ空間としての都市	7	／
１月	9　読み比べ コミュニケーション	細川英雄	対話の意味	3	
	◎定期考査(学年末)			1	／
２月 ～ ３月	10　実用文 (一)		法に関わる文を読み比べる	7	／

70　単元修了日時

令和５年度「文学国語」シラバス

年間授業計画

月	単元名・教材等		基準時間
4	オリエンテーション		1
	〈知〉のコミュニティへ	感触－－世界のリアル　保坂和志（p.10～p.15）	2
5	小説Ⅰ	ランドセル　角田光代（p.16～p.28）	3
	文学評論Ⅰ	もののふの心－－言葉とコトバ　若松英輔（p.38～p.45）	3
	1学期中間考査		1
6	小説Ⅱ	山月記　中島敦（p.46～p.58）	5
	詩	天景・猫　萩原朔太郎（p.66～p.67） 永訣の朝　宮沢賢治（p.68～p.71 ） サーカス　中原中也（p.72～p.73）	1 2 1
	1学期末考査		1
7	随想	自分を解釈してもらう喜び　平野啓一郎（p.80～p.84）	3
9	小説Ⅲ	復讐　三島由紀夫（p.85～p.95）	5
10	短歌・俳句	麦わら帽子のへこみ　穂村弘（p.109～p.113）	1
	戦争と人間	靴の話　大岡昇平（p.122～p.133）	4
	2学期中間考査		1
11	小説 Ⅳ	米坂線109列車　宮脇俊三（p.134～p.145）	4
	文学評論Ⅱ	餓鬼道としての詩　松浦寿輝（p.172～p.177）	3
2学期末考査			1
12	小説Ⅴ	こころ　夏目漱石（p.178～p.211）	7
	第2部		3
1	文学評論Ⅰ	詩人のふるさと　富岡多恵子（p.239～p.247）	3
	小説Ⅱ	檸檬　梶井基次郎（p.248～p.258）	4

	学年末考査		1
2	小説Ⅲ	畜犬談　太宰治（p.290～p.304）	5
3	短歌・俳句	短歌－－寺山修司十首（p.332～p.333） 俳句－－虹の俳句七句（p.334～p.335）	3
	文学評論Ⅱ	「サヨナラ」ダケガ人生ダ　野崎歓（p.338～p.343）	2

様式１

令和５年度　シ　ラ　バ　ス

沖縄県立那覇西高等学校

科　目　名	単位数	学　年	必修・選択	対 象 学 科	備　考
現代文Ｂ	２	３	必修	全学科	

１．科目概要および目標

内容：言葉をとおして現実をみつめ，主体的に生き，伝え合う力を高めて，社会人として必要な国語の力を育成する。

目標：近代以降の様々な文章を的確に理解し，適切に表現する能力を高めるとともに，ものの見方，感じ方，考え方を深め，進んで読書することによって，国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。

２．成績評価

・定期考査、実力テスト等のテスト点に、作文、プリント等の提出物等の学習状況を加味して成績評価をする。

・1学期は校内弁論大会に向けて弁論文、2学期は夏期休業期間の課題である読書感想文を提出物の点数に入れる。

３．使用教科書・教材

『精選現代文Ｂ』（東京書籍）

『精選現代文Ｂ　学習課題ノート』（東京書籍）

『カラー版　新国語便覧』（第一学習社）

『常用漢字ダブルクリア三訂版』（尚文出版）

４．授業の展開と形態

普通科、国際人文科は一斉授業、体育科は少人数授業を行う。

内容に応じて視聴覚教室、コンピューター教室、学校図書館等も利用する。

５．学習方法

・目的や課題に応じて，さまざまな情報を収集し活用して，進んで表現するよう努めてください。

・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理しましょう。

・受け身ではなく自ら学ぶ姿勢をもって授業に参加し，自己を表現すると同時に相手の表現を理解することをこころがけてください。また，授業のみならず，日常生活の中でも積極的に言葉にかかわり，幅広い視野，人間性を身につける努力を続けてください。

６．履修上の注意点

⑴科目選択をする際考慮すべき事項

全学科にわたって必修。

⑵就職・進学試験等と関連しての注意事項

漢字や語彙等の基礎的な力をつける。また、文章を読み、問題を解く力を身につける。

様式２

年　間　授　業　計　画

月	単　　元			配時	ﾏｰｸ欄
４月	オリエンテーション			1	／
	評論（一）	小野　正嗣	文学の未来	3	／
		丸山　圭三郎	言語と記号	3	／
	小説（一）	梶井　基次郎	檸檬	3	／
		木内　昇	スペインタイルの家	3	／
５月	弁論大会HR予選　－主張を書き、発表する			3	／
	◎定期考査(中間)			1	／
６月	評論（二）	河野　哲也	環境問題と孤立した個人	3	／
		見田　宗介	鏡の中の現代社会	3	／
	随想	須賀　敦子	クレールという女	2	／
		若松　英輔	言葉を生きる	2	／
	◎定期考査(期末)			1	／
７月	評論（三）	鷲田　清一	社会の壊れる時	3	／
		長谷川　櫂	平気――正岡子規	3	／
８月	小説（二）	森　鷗外	舞姫	11	／
	◎定期考査(中間)			1	／
11月	評論（四）	野矢　茂樹	他者の声　実在の声	3	／
		新納　泉	原始社会像の真実	3	／
	小説（三）	小川　洋子	トランジット	7	／
12月	◎定期考査(期末)			1	／
１月	評論（五）	大澤　真幸	サッカーにおける「資本主義の精神」	3	／
		今村　仁司	抗争する人間	3	／
	◎定期考査(学年末)			1	／
２月	言語活動　課題を設定して調べた成果をまとめる			3	／

70　単元修了日時

様式３

評価の観点、内容及び評価方法

学期	評価の観点	内容	評価方法
1	関心・意欲・態度	1　難解な語句を辞書で調べているか。 2　各種の文章に積極的に取り組んでいるか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート
	話す・聞く能力	1　スピーチ・説明の際に、話す相手を意し、的確に意見を伝えることができるか。 2　情報通信ネットワークなどを利用して、調査したり様々な意見を聞きあったりしているか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート 3　発表(スピーチ)
	書く・読む能力	1　文章の構成を正しく把握できるか。 2　筆者の意図する論旨を正確に理解できるか。 3　課題に応じて自分の考えを表現できるか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート 3　定期考査 4　弁論文
	知識・理解	1　本文を正しく音読できているか。 2　文体や修辞などの表現上の特色を捉えているか。	1　プリント及びワークノート 2　定期考査 3　小テスト
	定期テスト 70 ％　その他テスト等 10　％　授業・提出物 20　％		
2	関心・意欲・態度	1　国語に対する関心を深め、言葉遣い・表現などに興味を持つことができるか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート
	話す・聞く能力	1　目的や場に応じて、効果的に話すことができるか。 2　筋道を立てて話したり、相手の話を的確に聞き、要点を押さえることができるか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート
	書く・読む能力	1　与えられた情報を整理し、論理的な文章を書くことができるか。 2　文章に描かれた人物・情景・心情などを正しく読み取ることができるか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート 3　定期考査 4　読書感想文
	知識・理解	1　常用漢字の読みを理解しているか。 2　作品の時代背景・文化等を正しく理解することができるか。	1　プリント及びワークノート 2　定期考査 3　小テスト
	定期テスト 70 ％　その他テスト等 10　％　授業・提出物 20　％		
3	関心・意欲・態度	1　本文の歴史的背景について、理解を深めようとしているか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート
	話す・聞く能力	1　作品を読み、自分の感想を筋道立てて書くことができるか。 2　優れた表現を、自分の中に取り入れることができているか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート
	書く・読む能力	1　登場人物の言動・行動などを把握することができるか。 2　近代の日本の社会的背景・思想を読み取ることができるか。	1　学習活動への参加状況 2　プリント及びワークノート 3　定期考査
	知識・理解	1　日本の歴史の流れの中での、文学作品の位置付けなどを把握することができているか。	1　プリント及びワークノート 2　定期考査 3　小テスト
	定期テスト 70 ％　その他テスト等 10　％　授業・提出物 20　％		

様式１

令和５年度　シ　ラ　バ　ス

沖縄県立那覇西高等学校

科　目　名	単位数	学　年	必修・選択	対 象 学 科	備　考
古典Ｂ	２	３	必修	全学科	

１．科目概要および目標

内容：「国語総合」での古文・漢文の基礎を発展させる科目。授業でさまざまな古典の文章を読むことをとおして、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりする。

目標：古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

２．成績評価

定期考査、実力テスト、小テスト等のテスト点に、プリントや課題の提出物等の学習状況を加味して成績評価をする。

３．使用教科書・教材

『標準古典Ｂ』（第一学習社）（第３学年では古文編第二部・漢文編第二部を扱う。）

『標準古典Ｂ学習課題集改訂版』（第一学習社）

『基礎から学ぶ解析古典文法』（桐原書店）

『カラー版 新国語便覧』（第一学習社）

『改訂版わかる・読める・解ける Key&Point 古文単語 330』（いいずな書店）

『古典文法クリアノート』（尚文出版）

『漢文必携』（桐原書店）

４．授業の展開と形態

全科：一斉授業（１クラス 40 人程度）

内容に応じて視聴覚教室、コンピューター教室、学校図書館等も利用する。

５．学習方法

・語句の意味・用法、文法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、古典独特の文体や修辞などの表現上の特色をとらえられるようにしましょう。
・本文をノートに写し、わからない語句は辞典を使って調べておきます。口語訳まで自力でやることを予習とするよう習慣づけましょう。
・学んだことを定着させるためには復習が肝要です。教科書・授業ノートを確かめながら学習内容を整理すること。特に文法や漢文の句法は繰り返し練習しましょう。

様式 2

年間授業計画

那覇西高等学校

月	古　文　編	漢　文　編	配時
4月	☆オリエンテーションと前年度の復習 「枕草子」中納言参り給ひて 伝承・説話 御伽草子 宇治拾遺物語 唐物語	逸話 説苑 項羽と劉邦 鴻門の会	1 2 2 2 2 4
	定期考査(中間)		1
6月	物語（一） 大和物語 宇津保物語 堤中納言物語	三国志の世界 水魚之交 赤壁之戦 死諸葛走生仲達	2 2 2 3 1 2
	定期考査(期末)		1
7月	俳諧 春夏秋冬		4
9月 10月	物語（二） 大鏡 源氏物語	漢詩の鑑賞・古体の詩 絶句 蛾眉山月歌 臨洞庭	6 7 1 1 1
	定期考査(中間)		1
11月	日記 蜻蛉日記 紫式部日記 和泉式部日記	遊子吟 売炭翁	2 2 2 2 2
12月	定期考査(期末)		1
1月	評論 無名草子 無名抄 玉勝間	史記の群像 孫臏 馮驩 信陵君	2 1 1 1 1 2
2月	学年末考査		1
		諸家の思想・名家の文章 孟子（仁人心也） 売油翁	2 1

70 時間

様式１

令和5年度　シラバス

科　目　名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
国語セミナー	2	3	選択	普通科・国際人文科	

１．科目概要および目標

１，２年で学んだ現代文・古典それぞれの分野を復習し定着させることにより、大学入試問題に対応できる総合的な力を身につけることを目標としている。

２．成績評価

中間考査、期末考査や小テスト、提出物などを加点して成績を出す。

無断欠課・欠席は減点する。

定期テスト　７０％	その他小テスト等　２０　％	授業・提出物　１０％

３．使用教科書・教材

・国語新総合演習（尚文出版）　・常用漢字ダブルクリア(尚文出版)

・解析古典文法（桐原書店）　・漢文必携（桐原書店）

４．授業の展開と形態

現代文においては小説・評論の読解方法を演習を行いながら定着させる。古文においては重要古語や古典文法、漢文においては重要語句や漢文句法の徹底理解・定着をはかり、文章読解を確実なものにする。

５．学習方法

原則として家庭学習が必要である。

大学進学に向けて理解を深められるよう、普段から授業で着実に力を付けるよう心がけることが重要である。

６．履修上の留意点

⑴科目選択をする際考慮すべき事項

普通科・国際人文科　選択

⑵就職・進学試験等と関連しての注意事項

上記のテキストを用いながら国語の基礎力養成をはかる。

様式２

年　間　授　業　計　画

月	時数	学習項目	学習内容（ねらい）および評価の観点	a	b	c	d	e	評価方法
4	1	オリエンテーション	・3年で必要な国語の力など大学入試に必要とされる能力とはなにかをはじめ、評価の方法の説明や生徒の国語力を簡単な豆テストで確認する。	○	○	○	○	○	授業態度 豆テスト
	2	自然と科学	・評論教材の導入として、平易な言葉で書かれた作品に触れる。	○	○	○	○	○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1	仲間の涙に	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
5	2	ふじの山とは名づけける	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心情を読み味わう。 ・品詞の種類について理解する。 ・係り結びについて理解する。 ・和歌の本質などについて話し合い理解を深める。	○ ○	○ ○		○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1学期中間考査								
	2	漢文の訓読	・漢文に親しみを持つ。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味 ・用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	○ ○	○ ○	 ○	○ 	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1	知の旅へ	・評論の読解方法を習得する。 ・全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。 ・抽象的なテーマに触れて、多角的なものの見方や考え方を身につける。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
6	2	さかあがりの神様	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	六波羅殿のかぶろ	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・自発～使役等助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1学期期末考査								
7	2	句形の学習①	・漢文に親しみを持つ。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。 ・否定形の意味・用法を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	☆グラフや表のある文章（現代文）	・大学入試テストの傾向から、グラフや表などの実用文のある文章の読み取り方を理解する。。	○	○	○	○	○	授業態度 発問評価

8 9	2	医療の質の転換	・評論の読解方法を習得する。 ・全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。 ・医療という現代的なテーマに触れて、多角的なものの見方や考え方を身につける。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1	都会の生活に	・随想の読み方を習得する。 ・ふるさとの自然に対する筆者の思いを読み取る。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	男は早う忘れにけり	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・過去の助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2学期中間考査								
10	2	左の大臣いまそがりけり	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・完了の助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1	すれちがう青春の心	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	句形の学習②	・漢文に親しみを持つ。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。 ・疑問形・反語形の意味・用法を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	1	☆会話文のある文章（古典）	・大学入試テストの傾向から、会話等のある文章の読み取り方を理解する。	○	○	○	○	○	授業態度 発問評価
11	2	澪標のもとより出でて	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・打消、打消推量の助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	異文化を理解するということ	・評論の読解方法を習得する。 ・全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。 ・日本文化に関わるテーマに触れて、多角的なものの見方や考え方を身につける。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2学期期末考査								
12	2	句形の学習③	・漢文に親しみを持つ。 ・漢文の構造を理解し、漢字・漢語の正しい意味用法を理解する。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。 ・受身形・使役形の意味・用法を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	物語の事をのみ心にしめて	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他

12	2	変化の兆し	・小説の基本的な読解方法を習得する。 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ・小説についての理解を深め、小説のおもしろさを味わう。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	ある者、子を法師になして	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
1	学年末考査								
	2	郊外の人びと	・評論の読解方法を習得する。 ・全体の構成を把握し、論の展開に即して正確に内容を読み取る。 ・環境問題という現代的なテーマに触れて、多角的なものの見方や考え方を身につける。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
	2	蚊のまつげの落つるをも	・古文に親しみを持ち、話のおもしろさを理解する。 ・助動詞について理解を深める。	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他
2	2	漢詩を読む	・漢詩の種類・形式・鑑賞方法を習得する。	○	○	○	○	○	授業態度 発問評価 テキストの提出 定期考査 その他

令和５年度　シラバス

沖縄県立那覇西高等学校

科　目　名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
国語表現	２	３	選択	普通科 国際人文科 体育科	

１．科目概要および目標

国語で適切に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし言語感覚 を磨き、進んで表現することに依って社会生活を充実させる態度を育てる。

２．具体的目標

①　国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。

②　自分の考えをまとめたり、深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。

③　自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書く。

④　自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。

⑤　表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身につける。

３．使用教科書

『国語表現　改訂版』　　教育出版　国表３０６

『国語表現　改訂版　演習ノート』　教育出版

４．授業の展開と形態

希望による少人数のクラス編成。言語による表現活動が中心となり、創作的な活動や調査・研究的な内容も含むため、図書室やパソコンも利用する。評価は、提出課題に加えて授業中の発言や発表、授業態度、課題やその取り組み方、自己評価、生徒間の相互批評などを元に行われる。定期テストは、必要に応じて行い、小テストを行う場合もある。

５．学習方法

・自分の考えを明確にして、スピーチ、発表、討論などを行う。

・観察したことや調査したことを記録したり、まとめて報告したりする。

・相手や目的に応じて、案内、紹介、連絡などのための話をしたり、文章を書いたりする。

・身近にある様々な表現を集めて、その効果などについて考えたり、生徒の表現活動について自己評価や相互評価を行ったりする。

６．履修上の留意点

（１）科目選択をする際、考慮すべき事項

① 自分から主体的に物事を考え、創意工夫し、積極的に表現活動に取り組む意欲があること。

② 日常生活のすべてが学習の場といえ、意識的に言語生活の営み（音声表現・活字表現）に関心を払うようにする。

（２）就職・進学試験等と関連しての注意事項（３年生）

① 生徒の進路の希望に応じて、入試科目としての小論文や課題作文、面接試験　等の学習を取り入れる場合もある。

② 実社会や現実生活で欠かすことのできない、自己表現能力やコミュニケーション能力の向上を図る。

様式２

月	章の目標	時	章	主な学習活動	日
４月	１　コミュニケーションのために（1時間） ○アイスブレイクを行い，コミュニケーションのための土台を作る。	1	ウォームアップ３　他己紹介をしよう	○ペアで交互にインタビューを行い，他己紹介をする。	／
	２　文章表現の基礎（９時間） ○文字の表記からわかりやすい文章の書き方まで，文章表現に必要な基礎力について確認する。	2	ステップ２　語句の用法と文のくぎり方	○適切な文を書くために，語句の使い方や文のくぎり方を正しく理解し，分かりやすい文章の書き表し方を学ぶ。	／
		2	ステップ３　文章のリフォーム――推敲	○書き上げた文章を推敲するときの観点を具体的に学び，典型的な悪文について理解を深めることで，他者に理解されやすい文章の書き方を学ぶ。	／
５月		3	ステップ１　意見を論理的に述べる	○小論文は根拠に支えられた意見を述べるものであることを理解し，具体的なトレーニングを通して意見と根拠を短文で書く。 ○与えられた論題から適切な問いを見つける方法を学ぶ。	／
		2	ステップ３　文章の「型」――構成の方法	○文章構成のバリエーションを学ぶとともに，特に小論文の「型」としての三段構成の特徴を理解する。	／
	３　小論文Ｉ（１１時間） ○文章の「型」を各種のトレーニングを通して習得し，論理的文章を書くための基礎力を養成する。 ○小論文のテーマ一覧を参照することで自己の論文テーマの幅を広げる。	2	ステップ４　構成ノート	○文章執筆のための設計図としての「構成ノート」を理解し，実際に作成してみることで小論文執筆の準備の仕方を学ぶ。	／
		3	ステップ５　テーマ型小論文の実際	○テーマ型小論文の特徴を知り，「問い」と「答え」と「根拠」に着目しながら実際に執筆する。	／
		1	★ズームアップ２　つなぐ言葉	○適切な接続表現や指示表現を用いる課題を行う。	／
		3	◎小論文テーマ例一覧	○小論文のテーマ例一覧から任意の論題を選び，実際に小論文を書く。	／
６月		2	ステップ３　スピーチの方法	○スピーチのための事前の準備について理解し，本番の体験をとおして，その方法を学ぶ。	／
	５　人とつながる言葉（3時間） ○ことばの性質やことばと人間とのかかわりについて理解し，言語生活や具体的な表現活動に役立て，人間関係を維持・構築していこうとする認識を養う。	3	ステップ２　待遇表現――敬語によるコミュニケーション	○敬語が人間関係の調整や場の状況にどのようにはたらいているか考え，自己表現としての敬語の使用方法を理解する。	／
	６　面接――社会との接点（７時間） ○自己を知り，場面を判断し相手に配慮して，自分の意見を述べるという面接の学習をとおして，社会への参加能力を育てる。	2	ステップ１　自分を知る	○自己分析をとおして自分を理解し，自己アピールを作成する。	／
		2	ステップ２　相手を知る――志望先の情報を集める	○志望先の情報を集め，履歴書や志願書を作成できる。	／
７月		2	ステップ３　模擬面接をする	○実際の面接の場面を想定し，伝わる話し方について理解して，面接における心構えと技術を習得する。 ○模擬面接をとおして，面接の基本事項を学び，実践力を身につける。	／
		1	★ズームアップ４　ジョハリの窓	○「ジョハリの窓」による自己分析方法を学び，面接準備の一助とする。	／

9月	7　言葉遊びと創作（6時間） ○意味の伝達という言葉の「中心」的機能だけでなく，遊び心のある言葉の世界を体験させる。このことによって言葉のセンスを磨くと同時に，言語文化の歴史的な連なり，社会的な広がりを学ぶ。	1	ステップ1　言葉遊び	○さまざまなことば遊びの体験をとおして，言語表現の多様な側面を理解し，またその楽しさを知る。	／
		1	ステップ1　言葉遊び	○様々なことば遊びの体験をとおして，言語表現の多様な側面を理解し，またその楽しさを知る。	／
		2	ステップ4　俳句･短歌を作る	○俳句・短歌の作り方のコツを学ぶ。 ○俳句・短歌がどのような構造をしているかを知る。	／
		2	ステップ5　詩を作る	○詩の作り方のコツを学ぶ。 ○詩がどのような構造をしているかを知る。	／
10月	9　プレゼンテーションの方法（7時間） ○これまで培ってきたコミュニケーションのさまざまな技術をプレゼンテーションで用いる。言語表現と非言語表現，音声表現と非音声表現の違いを知って，プレゼンテーションでこれらの表現要素を効果的に用いることができる。 ○情報の視覚化の方法を知り，それらを効果的に用いてプレゼンテーションを行う。	1	ステップ1　電子メール	○電子メールのマナーを理解し，適切な形式と内容で電子メール文書を作成する。	／
		2	ステップ1　プレゼンテーションの技術	○総合的な音声言語表現であるプレゼンテーションの表現要素，評価の観点，情報の視覚化の方法を学ぶ。	／
		2	ステップ2　プレゼンテーションの実際	○プレゼンテーションの実際例をもとに，プレゼンテーションの構成と流れを理解し，説得力のある話し方の技術を学ぶ。	／
		2	ステップ3　スライドを使ったプレゼンテーション	○情報の視覚化の方法として，プレゼンテーション・ソフトによるスライドの作成法を理解し，それを使用して実際に行う。	／
11月	10　小論文Ⅱ（12時間） ○3 章で学んだテーマ型小論文に加え，課題文型小論文とデータ型小論文の二つのタイプの小論文の書き方を身につけるとともに，論文執筆の際のルールに習熟する。○課題文を的確に理解し，自らの意見を明確にして小論文にまとめる。○データを分析して，問題を提起し，小論文を展開させることができる。	2	ステップ1　要約の方法	○文章を要約する際の基本的な観点を理解し，実際に要約文を書くトレーニングをとおして，的確な読解力と適切な表現力を身につける。	／
		1	ステップ2　課題文から問いを見つける	○課題文を読んでから書く小論文の特徴を知り，設問の要求を的確に読み分けることや，課題文の要約，引用の仕方などに習熟する。	／
		2	ステップ3　課題文型小論文の実際	○課題文提示型の小論文を実際に執筆する。また，課題文型もテーマ型と同様，明確な意見提示と，十分な根拠によって展開されることを学ぶ。	／
		2	ステップ4　データを読む	○グラフや表などのデータの読み方を理解し，小論文を構成する要素を取り出し，実際の執筆に役立てる。	／
		4	ステップ5　データ型小論文の実際	○データから読み取れた内容が実際の小論文ではどのように展開されているかを理解する。	／
		1	ステップ6　引用と情報源の明示	○引用のルールについて理解し，注や参考文献の表記などの論文執筆時に必要な事項について習熟する。	／
12月	11　話し合いの方法（6時間） ○目的に合わせた話し合いの形式や手法を学び，意思決定や合意形成のための会議の方法とルールを理解する。 ○ディベートの基本的な流れについて理解し，実際に取り組む。	2	ステップ2　ディベートの方法	○ディベートの流れとルールを理解し，ディベートを実践する。	／
		2	ステップ3　意思決定･合意形成のための会議	○家族会議の記録を題材にして，意思決定や合意形成の方法やルールについて理解する。	／
		2	★ズームアップ8　多数決と全員一致	○多数決という意思決定の原理について確認する。 ○ステップ3の補足的資料として活用する。	／

1 月	13　物語を作る（８時間） 〇それぞれの手法によって，物語の作成を楽しむ。	3	ステップ１　二次創作を楽しむ	〇もとになる物語作品について理解を深め，パロディーなどの二次創作に取り組む。	／
		2	ステップ２　絵から物語を作る	〇絵カードを並べ替えながら想像し，ストーリーを作成する。	／
		3	ステップ３　テーマから物語を作る	〇抽象語によるメインテーマを起点にして具体化させていくピラミッドワークを用いて，物語を作成する。	／

７０　／単位終終了日時